

# いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

## 「塘添さんの生き方に学ぶ」

射水市立塚原小学校4学年  
平成26年10月28日実施

塘添先生は、射水市立放生津小学校(平成26年11月14日)においても、いのちの授業をされました。

## 【いのちの先生】

塘添 誠次先生

・ 県視聴覚障害者協会理事

### (児童の感想)

ぼくは、とうぞえさんのお話を聞いて、二つのことを学びました。一つは自分が当たり前と思っていることが、当たり前ではないということです。目が不自由なとうぞえさんは、当たり前が当たり前ではないと言っておられました。また、前向きに生きることは大切だと思いました。目の不自由なとうぞえさんは、前向きに生きておられるので、ぼくもくじけずに生きていこうと思いました。命はとても大切だとあらためて思いました。

### (保護者より)

日常生活の中で、当たり前に行っている見る、聞く、話す、歩く、走る、すべての事ができることに感謝して、一生懸命毎日を過ごしてほしいと思います。塘添さんのお話を聞いて、少しでも何かを感じてくれたのなら良かったです。「前向きに あきらめないで」何事にも挑戦して行ってほしいです。

### (児童の感想)

私たちはふつうに歩いたりすることは、当たり前だと思っていました。でも目の不自由な人たちは、歩くことが当たり前ではないと思いました。嫌なことがあっても自分で工夫したり、努力したりすることが大事なんだと思いました。私たちが生きていることは、とても大切なことなんだと思いました。

### (保護者より)

健康に産まれてくることは、それだけで幸せなことです。〇〇が健康で元気に産まれてきたときは、お母さんはとても幸せで、感謝の気持ちでいっぱいでした。命があり、健康な体を持っていることに感謝し、いろいろなことにチャレンジ、努力をしてください。そして、ふたつとない大切な命です。自分を大切にしてください。



＜玉の中の4つの鉛玉を見せてもらう＞



＜はちまきで目かくしをしてチャレンジ＞



＜両手が見えるか視野を確認する＞



＜視野5度で本を読む体験をする＞



＜ロープにつながって自力で登山＞



＜塘添さんのお話の内容を板書と共に＞